



報道機関 各位

記者発表資料

令和5年1月11日（水）

問い合わせ先：岩槻人形博物館

副館長：岩崎

担当：池田、清水

電話：749-0223

さいたま市岩槻人形博物館

企画展「描かれた雛祭り ～にんぱくの浮世絵コレクション～」を開催します

岩槻人形博物館では、令和5年1月28日（土）から3月19日（日）まで、企画展「描かれた雛祭り ～にんぱくの浮世絵コレクション～」を開催します。

雛祭りの時期に、毎年趣向を変えて雛人形にまつわる展覧会を開催していますが、今年は、当館が所蔵するコレクションの中から**雛祭りや雛人形が描かれた浮世絵**を選び、展示します。

また、浮世絵に描かれた雛人形と同じ様式の**雛人形等**もご覧いただけます。

人形と人形が描かれた浮世絵の双方をコレクションする当館ならではの雛祭り、華やかな雛祭りの世界をご堪能ください。

※ 「にんぱく」は、さいたま市岩槻人形博物館の愛称です。



歌川国貞(三代豊国)「源氏十二ヶ月之内 弥生」(部分)

【プレス内覧会（プレス関係者限定で実際の展示作品を公開）】

日時：1月26日（木）午前10時30分から正午まで

内容：学芸員による展示解説ほか

申込み：1月25日（水）正午までに、別添参加申込書により申し込みください。

さいたま市岩槻人形博物館
企画展「描かれた雛祭り ～にんぱくの浮世絵コレクション～」を開催

開催期間:令和5年1月28日(土)～3月19日(日)

場所:さいたま市岩槻人形博物館(埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1)

さいたま市岩槻人形博物館では、令和5年1月28日(土)から3月19日(日)まで、企画展「描かれた雛祭り ～にんぱくの浮世絵コレクション～」を開催します。

※「にんぱく」は、さいたま市岩槻人形博物館の愛称です。

当館は、人形のほか、より深く人形と人形周辺の文化を知るために、人形が描かれた絵画等も収集しています。特に浮世絵は、観賞としての美しさはもとより、生活に根付き、当時の人々の暮らしの中にある人形を知る手掛かりとしても、重要な資料です。

今回は、雛祭りの季節に合わせ、当館が所蔵する浮世絵コレクションの中から雛祭りや雛人形が描かれたものを選び、展示します。雛祭りは、上巳の節句に行う女子の健やかな成長を祝う華やかな行事として江戸時代に定着し、浮世絵にもたくさん描かれました。本展では、浮世絵と共に、描かれた雛人形と同じ様式の雛人形等も展示し、描かれた雛人形とはどのようなものであったのかを、実物と合わせてご覧いただけます。

人形と人形が描かれた浮世絵の双方をコレクションする当館ならではの雛祭り、華やかな雛祭りの世界をご堪能ください。

なお、今年も観覧料無料キャンペーン「着物で岩槻」を行います。開催期間中に着物でお越しの方は、観覧料が無料になります。華やかな雛祭りの世界を着物姿で訪れてみてはいかがでしょうか。是非お楽しみください。

【主な展示資料】



落合芳幾 「花見月鄙世話事」



溪斎英泉 雛段飾り



古今雛

【本件に関するお問い合わせ】

さいたま市スポーツ文化局文化部岩槻人形博物館 TEL: 048-749-0223 / FAX: 048-749-0225

【関連イベント】

1 講演会「浮世絵に描かれた雛祭り」

日時: 令和5年2月25日(土) 午後2時～3時30分

講師: 日野原健司氏(太田記念美術館主席学芸員)

会場: 当館会議室

参加費: 無料/定員: 30名 ※応募者多数の場合は抽選

締切: 1月31日(火) ※当日消印有効

2 ワークショップ「つくろう、おひなさま ～ふじ雛の絵付け体験～」

日時: 令和5年2月11日(土・祝) 午後2時～4時

講師: 当館学芸員及び当館ボランティア

会場: 当館会議室

参加費: 400円/対象: 小学3年生以上/定員: 16名 ※応募者多数の場合は抽選

締切: 1月12日(木) ※当日消印有効

3 学芸員による展示解説

日時: 令和5年2月19日(日)、3月11日(土) いずれも午後2時～ ※30分程度

集合場所: 当館展示室前 ※要観覧券

〔申込方法〕

上記1及び2

往復はがきに、①応募イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記の上、当館までお送りください。

※往復はがき1枚につき、1イベントずつご応募ください。

※小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。

上記3

申込不要です。ただし、参加人数を制限する場合があります。

【さいたま市岩槻人形博物館 施設概要】

所在地: 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1

電話番号: 048-749-0222

開館時間: 9:00～17:00(観覧受付は閉館30分前まで)

休館日: 毎週月曜日(休日は開館)、12月28日から1月4日

観覧料:

| 種別 | 個人 | 団体(20人以上) | 年間パスポート(個人) |
|---------------|------|-----------|-------------|
| 一般 | 300円 | 200円 | 1,030円 |
| 高校生・大学生・65歳以上 | 150円 | 100円 | 510円 |
| 小学生・中学生 | 100円 | 50円 | 300円 |

交通案内: 電車をご利用の場合: 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分

車をご利用の場合: 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分

駐車場: 無料30台

公式HP: <https://ningyo-muse.jp/>

企画展

描かれた 雛祭り

THEMATIC EXHIBITION

にんぱくの
浮世絵
コレクション



The Hina Matsuri in Ukiyo-e, from the Nimpaku Collection



2023
1/28 (土)
3/19 (日)



休館日=月曜日 開館時間=午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで
観覧料=一般 300円(200円)/高校生・大学生・65歳以上 150円(100円)
小学生・中学生 100円(50円)

※()内は20名以上の団体料金。※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。
[主催]さいたま市岩槻人形博物館

◎本展会期中、着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。(着物で岩槻)

 **岩槻人形博物館**
IWATSUKI NINGYO MUSEUM

〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1

Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225 <https://ningyo-muse.jp/>

さいたま市岩槻人形博物館では、人形のほか、より深く人形と人形周辺の文化を知るために、人形が描かれた絵画等も収集しています。特に浮世絵は、観賞としての美しさはもとより、生活に根付き、当時の人々の暮らしのなかにある人形を知る手掛かりとしても、重要な資料です。



1. 落合芳幾「花見月郎世話事」万延2年(1861)
 2. 漢斎英泉 雛段飾り 文政後期～天保期(1824～1844)頃/3. 古今雛 江戸時代
 4. 山本昇雲「いませ姿 ひなまつり」明治40年(1907)/5. 紫檜象牙細工詩絵雛道具 江戸時代
 6. 官川春汀「当世風俗通 ひなまつり」明治32年(1899) ※すべて、さいたま市岩槻人形博物館蔵

描かれた雛祭り にんぱくの浮世絵コレクション

今回は、雛祭りの季節に合わせて、当館が所蔵する浮世絵コレクションのなかから雛祭りや雛人形が描かれたものを選び、展示します。雛祭りは、上巳の節句に行う女子の健やかな成長を祝う華やかな行事として江戸時代に定着し、浮世絵にもたくさん描かれました。本展では、浮世絵と共に、描かれた雛人形と同じ様式の雛人形等も展示し、描かれた雛人形とはどのようなものであったのかを、実物と合わせてご覧いただけます。人形と人形が描かれた浮世絵の双方をコレクションする当館ならではの雛祭り。華やかな雛祭りの世界をご堪能ください。

◎関連イベント

講演会「浮世絵に描かれた雛祭り」
 日時：2月25日(土) 午後2時～3時30分
 講師：日野原健司氏 (太田記念美術館主席学芸員)
 会場：当館会議室／参加費：無料／定員：30名 ※応募者多数の場合は抽選
 締切：1月31日(火) ※消印有効

ワークショップ「つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～」
 日時：2月11日(土・祝) 午後2時～4時
 講師：当館学芸員及び当館ボランティア
 会場：当館会議室／参加費：400円／対象：小学3年生以上
 定員：16名 ※応募者多数の場合は抽選／締切：1月12日(木) ※消印有効

【申込方法】 往復はがきに、①応募イベント名・希望する回、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。
 ※往復はがき1枚につき、1イベントずつご応募ください。
 ※小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。

学芸員による展示解説
 日時：2月19日(日)、3月11日(土) いずれも午後2時～(30分程度)
 ※申込不要、要観覧券。当日展示室にお集まりください。
 ※参加人数を制限する場合があります。

◎イベント INFORMATION

「雛道具の世界 組香をやってみよう～闘鶏香～」
 日時：3月12日(日) ①午前10時～12時/②午後2時～4時
 講師：平井江鶴(安藤家御家流)／会場：当館会議室／参加費：1,500円
 定員：各回10名 ※応募者多数の場合は抽選／締切：2月14日(火) ※消印有効
 申込方法：関連イベントの【申込方法】をご覧ください。

◎常設展示情報

岩槻をはじめとした人形作りを紹介する展示室1「埼玉の人形作り」と、所蔵品の様々な人形を紹介する展示室2「コレクション展示 日本の人形」があります。雛祭りのシーズン、気品ある次郎左衛門雛が皆さまをお迎えます。

◎次回展覧会のご案内

特集展示「見る、知る、学ぶ! 岩槻の人形学」
 会期：2023年4月29日(土・祝)～7月2日(日)【予定】
 さいたま市岩槻区は、日本有数の人形産地として知られています。本展では「人形のまち岩槻」の歴史と技、岩槻の職人や作家による人形を紹介します。



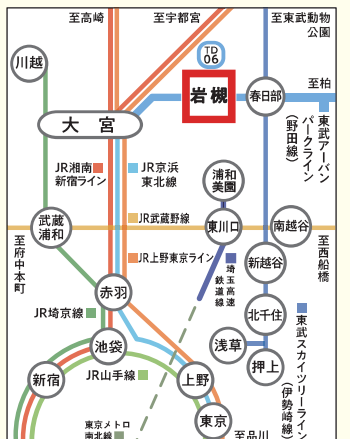
鈴木賢一「五月晴」昭和時代後期 さいたま市岩槻人形博物館蔵

※展覧会及び各イベントの予定は、都合により変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

岩槻駅東口周辺では「人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」が開催されます。
 会期：2023年2月23日(木・祝)～3月12日(日)
 主催：人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり実行委員会

岩槻人形博物館
 IWATSUKI NINGYO MUSEUM

〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
 Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225 <https://ningyo-muse.jp/>



【交通案内】**【電車をご利用の場合】** 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきの共用です。

※当館は新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでおり、入館を制限する場合がございます。最新の開館状況はホームページをご覧ください。
 ※このチラシは30,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約9円です。